

◎消防施設の経費

消防施設整備事業	【 消防総務課 】
----------	-----------

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち
地域安全: 災害対策、交通事故や犯罪などへの安全対策が進められているまち

【事業の目的】

対象 市民及び消防職員等

意図 市内に配置されている、消防署所から特に遠距離にある地域の防火防災体制及び水利弱体地域の強化等を図ると共に、防災拠点である消防署所の機能整備を図る。

効果 災害を最小限に抑え、救命率の向上を図り、より快適、安全で安心に暮らせるまちづくりを図る。

【事業の内容】

- (1) 消防施設整備事業
 - ・ (仮称)七里ガ浜出張所用地を取得した。
 - ・ 消防本部庁舎に個別エアコンを設置した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

消防署所の総合的整備・充実(5-1-4-①)
消防本部庁舎の改修(5-1-4-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
121,541	124,305	123,500		805

主な支出内訳

- ・ 消防施設整備事業
 - (仮称)七里ガ浜出張所用地に係る不動産鑑定評価委託料 420
 - (仮称)七里ガ浜出張所用地購入費 102,920
 - 消防本部庁舎個別エアコン購入費 17,094
 - (仮称)七里ガ浜出張所用地測量負担金 767

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	<input type="checkbox"/> サービス部門 消防-06 消防施設整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	237 消防施設整備事業					
主管課	消防総務課		関連課				
分野名	地域安全						
目標 (目標値)	消防施設の充実						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	123,500千円	0千円	60,840千円			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	123,500千円	0千円	60,840千円			
	人員配置数	1.0人	0.0人	4.0人			
	人 件 費	9,391千円	0千円	38,655千円			
事務事業 運営経費	協働の パートナー						
	総事業費	132,891千円	0千円	99,495円			
	市民1人当 りの経費	753円	0円	568円			
対象者1人 当りの経費							
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・消防本部設置のヒートポンプ及び空調設備の老朽化が激しく、冷暖房機能が低下し、職員の健康管理上の問題点や環境面を考慮し、導入の検討をした。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・個別の空調設備を導入したことにより、職員の健康管理面や光熱水費面で、以前より良い結果に改善した。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・他の庁舎においても、ヒートポンプ設備の老朽化が激しい対象があるため、本部庁舎同様、整備していきたい。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 業務の再点検を行い、見直しを図る。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性
	改善の必要がある庁舎については、早期に実施したい。				無
担当課長氏名:	堀 英彦				

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性
	今後も、可能な限り、消防施設の整備を図りたい。				無
担当部名	消防本部	部長名	畑 光則		